

平成28年12月20日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・ 開催日 平成28年12月20日（火） 12:30～13:35
- ・ 会場 信州たかやまワイナリー
- ・ 参加グループ 高山村ワインぶどう研究会
- ・ 懇談内容 地域が一体となったワイン産地の形成について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) ナガノワインの魅力発信について

(ご意見の概要)

- ・ 村内のワイナリーも完成し、今後は、ワインを中心に地域が一体となって、高山村の魅力の世界に発信していきたいと考えている。
- ・ 発信は、ひとつの村だけではなく、周辺市町を含めて広域で考えているため、まとめ役等として協力いただきたい。

(知事の発言)

- ・ 協力どころか、私がそういう方向に持っていきたいと思っている。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 信州ワインバレー構想では、県産ワインをナガノワインと名付け、地元産のぶどうを使った高品質ワインとして、オール長野でプロモーションを展開しております。また、オフィシャルサイトを設けたり、毎年、東京帝国ホテルで県内ワイナリーが一堂に介するワインフェスを開催しております。
- ・ その結果、G7サミット晚餐会で提供されたワイン5本のうち、長野県関係ワインが3本選ばれるなど、ナガノワイン全体のブランド価値が急上昇中です。
- ・ 平成29年度は、海外コンクールへの出品を支援し、国際的なブランド価値向上にも努め、県内ワイナリーが一体となった発信を強化してまいります。

【担当課：産業労働部 日本酒・ワイン振興室】

(2) ワイン・ワイン用ブドウの品質向上について

(ご意見の概要)

- ・ 小規模ワイナリーは、分析や研究の規模が小さくなる。ワインは世界中どこでもつくられているものであるから、グローバルな研究開発が必要である。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 本県には、栽培技術の向上に積極的に協力したいと考える先駆的な生産者・ワイナリーが多数存在しており、平成29年度から新たに、「NAGANO WINE栽培情報プラットフォーム構築事業」により、県内各地のワイン用ぶどう栽培地の気象データなどの情報だけでなく、可能な限り海外における最新の知見等も収集し、県内関係者らとの情報共有と課題検討等を行う仕組みを構築してまいります。
- ・ また、これらで得られた情報をもとに、本県に特有な気象要因とワイン用ぶどうの生育・品質などの因果関係等を解析し、生産者らと協働した現地実証型の試験研究を進めることとしております。

【担当課：農政部 農業技術課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp